

原子力機構 敦賀事業本部 技術交流情報

No.34



平成27年12月21日

【技術課題解決促進事業】

来年4月に7年目を迎え、更なる飛躍で期待がかかる制度

原子力機構が抱える技術課題等について成立性を見極める新たな公募事業として平成22年度に開始した「技術課題解決促進事業」（技術交流情報 No.18 参照）は、来年度7年目を迎えます。昨年度に実施した7件のテーマについては新しい課題も含め概ね見極められて終了しました。

今年度は平成27年7月に6テーマ（ふげん：3テーマ、もんじゅ：2テーマ、レーザー共同研究所：1テーマ）の公募を行い11社が応募し9社を採択しました。

今年度までにトータルで45テーマ（ふげん：22テーマ、もんじゅ：6テーマ、レーザー共同研究所：17テーマ）（60社採択）を実施し、原子炉廃止措置の技術開発、高速炉検査技術の開発、レーザーの技術開発に貢献しており、3件のテーマについて地域企業との間で共同で特許を出願しております。その内の1件については、「レーザー遮光カーテン」の開発として機構の成果展開事業において商品化し、市場への展開も図られました。

このように、本事業は機構の課題解決に止まらず、地域企業の方々の原子力参入の企業体モデルとして進めております。

来年度は、平成28年5月に敦賀市及び福井市において、新規技術課題をご紹介する「第38回オープンセミナー」を開催予定です。また、このセミナーは、運営を開始した第1回（平成16年6月開催）より、年3回の頻度で実施しており、技術課題促進事業のテーマ紹介を始め、地域企業の方々に原子力機構で開発された技術を分かりやすく紹介する場として継続していきます。



敦賀市企業



敦賀市企業



福井市企業

【技術成果の展開】平成27年度 展示会への出展

★原子力技術の展開と地域企業の皆様との繋がりから生まれた製品の紹介

今年も様々な展示会に出展する機会に恵まれました。福井、静岡、金沢、大阪、東京、福島といった会場で開催された展示会等（全9つの展示会）でブースを出展させていただき、来場のお客様に原子力機構の技術や特許のご紹介、敦賀事業本部での技術相談から生まれた製品のご紹介等を行いました。

例年出展しているいくつかの展示会では、お客様から、「今年もまた新しい製品がありますね。毎年新しい製品を出展されていて、すばらしいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。私どもが出展している製品は、すべて、敦賀事業本部と地域の皆様との連携から生まれた結果（製品）であり、私どもと地域企業の皆様との繋がりや、取り組みが評価されたものと感じています。

私どもは、これからも県内をはじめ各地に足を運び、原子力機構で開発された技術や特許のご紹介をし、技術の展開に努めて参ります。また、企業の皆様が抱えているお悩みの中に、今後の新しい製品の種があるかもしれません。当室のビジネスコーディネーターが新しい製品開発のお手伝いをさせていただきますので、どうぞ敦賀事業本部の技術相談をご利用ください。

★福島県いわき市内15工業団地の企業様との交流

12月には、福島で開催された「いわきものづくりビジネスフェア」への出展に関連して、いわき市主催による、「市内工業団地間企業交流会」に参加しました。この交流会は、初めての試みとして行われ、企業間の情報交換をはじめ、地域活性化のための販路開拓及び新製品の開発等、いわき市内産業振興の更なる発展を目的としたもので、いわき市内15工業団地内の企業等の方々およそ100名が参加し、原子力機構のビジネスコーディネーターも、いわき市内企業の皆様との交流を図りました。本交流会での懇談会時には、原子力機構の研究成果を活用して生まれた製品の紹介を行い、参加されたの皆様から大変ご好評をいただきました。



展示ブースの様子



マッチングHUB金沢 北陸メッセ



いわきものづくりビジネスフェア

一口メモ ✕(▽*)

敦賀事業本部がお受けした技術相談は、延べ397件となりました（11月末受付時点）。これからも、一件一件の案件と真摯に向き合って参ります。